

別山～一の越～黒四ダム

2015.9.29～10.1 単独行

今回の山行は「北アルプス全一般登山道踏破」達成の記念すべき山行でした。一度は種々の都合から諦めた目標でしたが、私の山人生の最後の目標だと再確認し3年前から再挑戦しました。歩きながら特徴的なルートを歩いた時の事を思い出しながらの登山で感慨深い山行になりました。

9/29 (火) 快晴のち晴れ 自宅 6:30～7:00 扇沢 7:30～

(立山黒部アルペンルート) 8:55 室堂 9:20～ (バス) 9:30 天狗平～獅子鼻岩～
11:55 松尾峠 12:05～12:50 弥陀ヶ原バス停 13:10～ (バス) 13:30 室堂
13:40～14:10 らいちょう温泉雷鳥荘 (泊)

9/30 (水) 快晴 6:50～7:30 新室堂乗越～8:50 別山乗越 9:00～9:20

剣御前 (2777M、日本の標高70位) 9:30～10:00 別山乗越 10:10～10:50
別山北峰 (2880M、同37位) 12:00～12:50 内蔵助山荘 (泊)

10/1 (木) 晴れのち曇りのち小雨のち曇り 6:30～6:40 真砂岳 (2861M、同43位)～ (大走りコース) 7:50 雷鳥沢賽の河原分岐～9:25 一の越 9:35～12:30
黒部平駅 (昼) 13:00～13:50 ロッジくろよん 14:00～14:40 黒四ダム駅 15:05～15:21 扇沢 15:30～ (上原の湯で入浴) 17:20 帰宅

1日目～今月3度目の室堂駅に到着。弥陀ヶ原へのトレッキングコースを歩いた。私の目的からは登山道でもないハイキングコースであるし、バスが並行して走っている区間なので省略しても良い区間であるが歩いてみた。室堂駅のコインロッカーにザックを置いて軽身で。天狗平は室堂とは一味違った展望の良い所だが訪れる人は少ない。

今月3度目の室堂です

天狗平からの立山三山～剣岳



しばらく大日岳を眺めながら歩くと池塘の中の木道歩きとなる。紅葉を眺めながらで気持ちが良い。

弥陀ヶ原と大日三山



松尾峠からザラ峠方面



やがて足場がいくらか悪くなってくる。ツアー客 18 名ほどがガイド 2 名付きに追いつくがもたもたして待たされる。本当にツアー客は嫌いだ。その先が「獅子鼻岩」であった。2012年にラムサール条約登録湿地に指定された広大な弥陀ヶ原の中を歩いて松尾峠に向かう。追分から1周70分の木道歩きのコースがあるが歩く人は少なく2人とすれ違っただけだった。松尾峠の展望台からは眼下に湯川谷の砂防ダム群が今なお工事中で新湯の湯けむりも見える。つい先日ザラ峠～鬼岳間で見下ろした風景の再現であった。立山から砂防工事専用軌道が延々と延びているのだ。チョットガステいて残念。弥陀ヶ原は宿泊設備も数軒あり、ハイカーも多い。バスに乗って室堂に戻るが観光客・ハイカーで大賑わいだった。室道周辺には宿泊場所がいくつもあるが、

雷鳥沢と別山方面



雷鳥荘前で別山方面



今回は温泉付きの雷鳥荘に予約した。これは正解だった。温泉にユックリ入り、食事もいいし、暖房が効いていてそれで山小屋より安い税込（入湯税込）で9200円であった。お勧めです。モンベルの会員証を忘れてしまい宿泊料5%引きがあったが損をしてしまった。反省！

2日目～朝食はバイキングで良かった。雷鳥沢を下り、新室堂乗越へ向かうが登山者が多い。峠から別山乗越へ向かう人は私だけで皆奥大日岳へ向かって行った。日本二百名山で最近人気の山のような。この道は未踏区間であるがいつも歩く雷鳥坂コースに比べて傾斜も緩く展望も良いので驚いた。しかもコースタイムは同じ1:50なのだ。先日の

山行もこのコースを登れば良かったと反省した。歩く人が少なく、すれ違いのストレスも少ないので特に混雑する時期は絶対お勧めだ。大日三山・日本海・毛勝三山等を眺めながら別山乗越着。ザックを置いて軽身で未踏区間の劔御前の往復に向かう。カメラマンが3名いた。劔御前の山頂には三角点があるだけだった。その先は通行止めになっていた。劔岳が眼前に大きく、昨年歩いた早月尾根や毛勝三山、僧ヶ岳らしき山も見えた。北アルプスの展望も良い。乗越へ戻って別山への登り。南峰からさらに北峰へ。素晴らしい大展望だ。

劔御前から劔岳と白馬三山



下劔澤小屋 左劔山荘

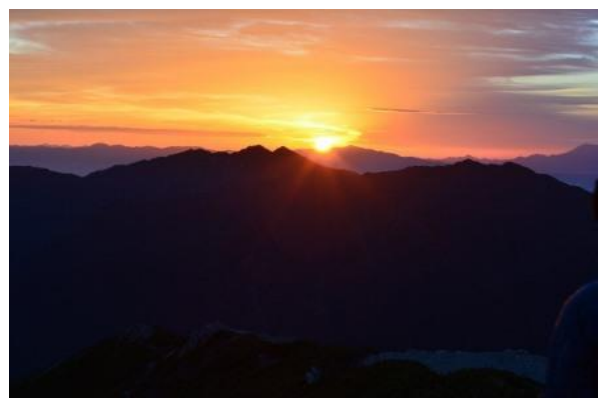


日本百名山挑戦中に室堂～立山三山～別山～劔山荘（泊）～劔岳～室堂を1泊2日で登った時にここから見た劔岳に感動した事を思い出す。昼食・コーヒータイム含めて1:15、もう2度とこの展望は見られないだろうと「見納め」をする。劔岳～朝日岳～清水尾根～旭岳～白馬三山～不帰のキレット（奥に雨飾山・火打山）～唐松岳（奥に妙高山）～五竜岳～針ノ木岳～爺ヶ岳～蓮華岳～北葛岳～烏帽子岳～八ヶ岳～富士山～南アルプス手前には今日宿泊する内蔵助山荘～立山三山～笠ヶ岳が奥に～龍王～薬師岳～白山～手前に歙崎山～大日三山～劔御前等。歩いた時の事を思い出しながらユックリ見渡す。感無量。午後から曇りとの予報であったが天気は良い。内蔵助山荘に早く着く。

内蔵助山荘からの展望、左から鹿島・五竜・

唐松・不帰・白馬三山・旭岳。下は真砂沢雪溪。

日の出は爺ヶ岳右から



明日は午後から雨模様との予報もあるので、もう少し先まで行こうか思案するが泊まる事にする。

2年前に内蔵助谷へ下った時には一部工事中だったが全館きれいになっていた。小屋前のテーブルでコーヒーを2杯飲んで後立山連峰をユックリ眺める。残念なことにここからは剣の全容は見えない。話し相手もいて退屈はしなかった。

3日目～日の出は爺ヶ岳であった。真砂岳を過ぎて未踏区間の「大走り」を下る。500M以上ある標高差のザラ場の下りである。転ばないように注意して下る。小屋の宿泊者のほとんどは別山か立山方面に向かったが。雷鳥沢賽の河原から未踏区間の一の越への登山道を登り返す事になる。前半は段差が小さくて歩きやすい階段状の登山道で植生回復のためのネットが脇に張ってある。後半は石の歩みにくい登山道であったが、展望を楽しみながら登る。一の越は何時も賑やかな所だ。

大走りコース、地獄谷・みくりが池・

大日三山の向こうには日本海が…

一の越への登山道



下って来た大走りコースが見えました

一の越山荘



いよいよ最後の未踏区間であるロジックろよんへの標高差 1220Mの下りである。この区間は立山黒部アルペンルートのカブルカーやロープウェイがあり、ほとんどの登山者はそれを利用するので、省略しても良い区間であるが、紅葉のこの時期は歩く人もチ

ラホラいるので歩く事にした。天気が悪くなってきた。見下ろすと2組が下って行く。黙々と転ばないように下る。東一の越付近で雨がぱらついてきた。15名位の団体さんを追い越して下山を急ぐ。物凄い紅葉の美しさだ。

黒部湖への下降開始



紅葉が凄い



この時期のこのコースはお薦めであると感じた。理由は紅葉を堪能出来るし高い乗り物代も節約できる、まさに一石二鳥であるから。途中で昨日小屋で同宿だった美人2名に追いつく。このコースを下山に選ぶ達人で感心する。雨は上がったけど露払いになってしまったので靴はビショリ濡れてしまった。黒部平駅に寄り道する。何しろ雨を警戒してほとんど休まずに歩いて疲れたし、腹も減ったし、水の補給もしたいので。つい「前祝」で立山の地ビールを飲んでしまう。もっとユックリしたかったが雨が心配で下山することにする。ロジックくろよんで雨に合えば記念の写真撮影に困るので。此处まで歩いてきた人たちも皆ここからはケーブルカーで下山するようだ。歩いてみてこの先は針葉樹が多い樹林帯で（ブナの木は多かったが）紅葉も展望も良くなかった。人が歩いた形跡も感じなかったので、カウベルを装着して歩く。途中でクリタケを採る。今日は自宅へ持ちもどりだ。雨に降られずに念願のロジックくろよんに到着する。



黒部平駅に寄り前祝の地ビール→

←黒部平駅入り口

ラッキーな事に若いペアが居た。早速記念の写真を撮ってもらう。





古い看板がありました→



手製の横断幕を掲げて。やっと達成した充実感がこみ上げてくる。自動販売機と椅子があり「お祝い」で缶ビールを飲みたかったが扇沢から車に乗るので超我慢する。此处からは読売新道を下った時に歩いている区間だ。コンクリートで舗装された道をダムへ向かう。道の真ん中にヘビが長くなっているの、石を投げてどかす。扇沢駅は雨降りだった。ラッキーだった。大町温泉郷の上原の湯で入浴して(65歳以上250円なので)帰宅して家でお祝いをする。

赤沼健治